

No. 2651



# 教育ルネサンス

## 高校地学 2

目高

俳句では、動物名前を漢字で書くことが多いです。漢字の-は意味があり、

まだなれていないのでしよう。あせをかくと、せなかにくっついて、よけいにおもくかんじますよね。はだのかんかくをてきかくに詠んで、小学生に共感される句になりました。

に、人の目はむかいかち。でもこの句では、てんとう虫そのものではなく、葉っぱがきれいだといっています。つやつやしているの、でしょうね。独自の視線を持つ作者に、拍手！

＜応募方法＞住所、学校名、電話番号を書いて、(住所不要)読売教育出版株式会社 編集部 K O D O へ。ファクス(03・メール(kodomimiuri.com))でも送ります。学校・学級・学年を明記してください。

\*第1、第3水曜日

\*ご意見は〒1



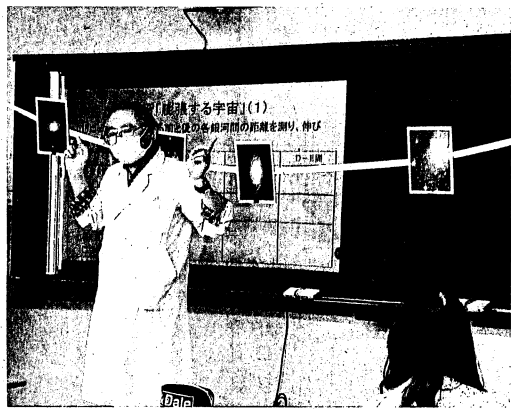
# 専門外の教員へ「実習帳」

地学を専門とする教員は高校の現場に少ない。一方で、2012年から選択必修科目になった「地学基礎」は、文系を中心に履修する生徒がいるため、物理や化学、生物が専門の理科教員が教えるケースもある。

「埼玉から地学 地球感星科学実習帳」という教材。化学が専門で「地学は分野が多岐にわたり、場数を踏

埼玉県の地学教員が作成した実習帳を活用しながら授業を組み立てる藤森講師

「小さい宇宙だけど、全宇宙だと思ってください」藤森建太郎講師(67)が示したのは5枚のゴムひもに銀河の写真5枚を取り付けた模型だった。生徒らはゴムひもを引っ張る前と後の各銀河間の距離を計測。ゴ



んだ専門教員でないと、生徒の興味を引く実習アイデアは出てこない。活用させてもらっている」と明かす。実習帳は県内の地学教員でつくる「埼玉県高等学校理化研究会・地学研究委員会」(埼玉地学)が10年に作成した。09年の学習指導要領改定で「地学基礎」の新設が決まり、「地学を教える者を得なくなる専門外の教員をどう支援するか」という視点で編集に当たった。39の実習を載せ、8回の改訂を重ねてきた。

実習帳の活用は、北海道や神奈川県、岡山県などにも広がる。作成に携わった埼玉県立熊谷高校の宮嶋敏教諭(56)は「狙い通りの二

一方、都教委は「必要があれば募集するが、現場から要望がない」と説明する。早稲田大の高木秀雄教授(構造地質学)が18年に全国4117校の授業の開設

状況を整えていきたい」とする。

状況を整えていきたい」とする。

状況を整えていきたい」とする。

# 投書

困渡のめ禁たコ